

来福サロン

国家戦略特区の決定を機にベンチャー企業を後押しする動きが高まっている。信用保証業務の㈱日本商業不動産保証（東京都港区、豊岡順也社長）では、オフィスの保証金・敷金を半額にするサービス「保証金半額くん」を福岡でも開

㈱日本商業不動産保証
豊岡 順也 社長



始した。

同サービスは、賃貸契約の際にテナントが保証金・敷金の所要金額の半額を預け入れ、残りを同社が保証する仕組みで、09年から東京を中心にサービスを展開。入居者は初期費用を軽減し、経営資源として活用できる一方、不

テナントの保証金・敷金半額でベンチャー支援

動産オーナーは他物件との差別化で入居促進につなげられる。利用には審査があり、ベンチャー企業の入居に不安を抱えるオーナーも安心だ。豊岡社長は「成長速度の速いベンチャー企業が利用することでオフィス移転の速度を上げ、市場を活性化していきたい」と語る。福岡進出にあたっては地場不動産の㈱三好不動産とベンチャー支援の㈱アイ・ビー・ビーと提携し、アイ・ビー・ビーが起業支援を手掛けた企業に、三好不動産を通じてサービス採用済みの物件を紹介するなど、オーナーとテナント双方へのアプローチでサービスの拡充を図る。今後はテナント向けにセミナーを実施する計画で「福岡のオフィス街は博多と天神がメイン。限られた地域の中で市場占有率を高め、認知度を向上させたい」と意気込む。（東京都出身。1973年9月7日生まれ。41歳。駒沢大学卒。趣味は読書。2011年9月設立。資本金2億1700万円。決算期3月。従業員11人）